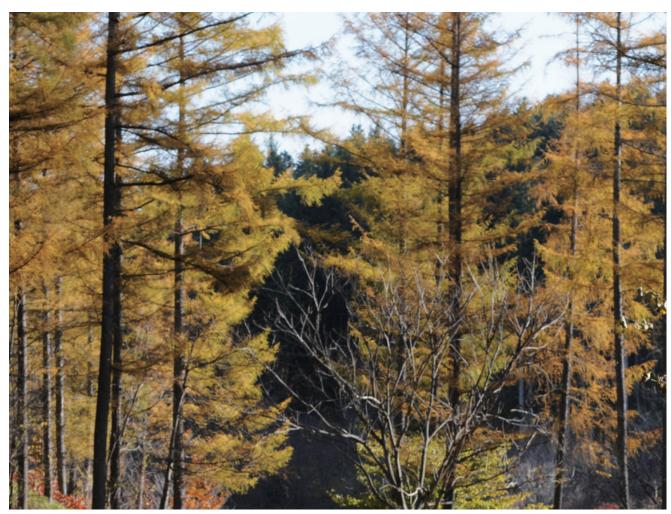


Green Letter

Green Column グリーンコラム

- 01 温水ため池のニューフェイス
- 02 美幌町の美術





城坂結実 《黄金色の森》

Photo 今月の1枚

11月に入ると、美幌町の森ではカラマツが一斉に黄葉し始めます。日本産のマツでは、唯一落葉するカラマツ。はらはらと舞い落ちるカラマツの葉に日の光が当たると、森の中は、黄金色のシャワーが降り注いだように輝きます。秋が深まり雪が降るまでの、束の間の美しさが楽しめるのも、あとわずかです。(城坂結実)



O1 Green Column グリーンコラム

温水ため池の ニューフェイス

写真・文/城坂結実

大大も深まった10月末。美幌町 大福住地区にある、美幌温水た め池へ出かけました。鬱蒼とした林の 脇を歩きながら、全国で相次ぐ熊の目 撃情報に不安を覚えつつ、ため池内を 観察しました。

美幌温水ため池には、美幌博物館の第2展示室で紹介しているように、トンボの仲間や魚など様々な生き物が暮らしています。植物では、アズマツメクサやネムロホシクサといった湿地を好む草花が見られる、美幌町でも数少ない貴重な場所でもあります。しかし、ここ数年で、ガマやフトイといった大型の水草が増え、美幌温水ため池の様子が変わっているような気がしています。

2021年9月、学芸協力員のUさんが、写真のイチョウウキゴケを見つけました。ウキクサ(浮草)のように水に浮くことができて、秋に黄葉する

イチョウに形が似ているのが、名前の 由来のようです。ウキクサの仲間かと 思ったら、ウキゴケ科に属するコケの 一種とのこと。水槽に入れて楽しむ鑑 賞用としても、人気があるコケだそう です。

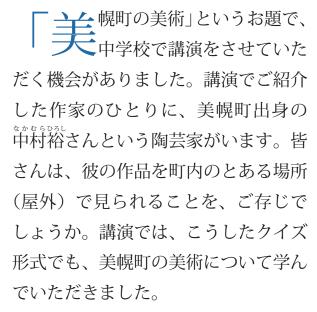
水に浮くコケなんてあるのか、と感心しながらウキゴケ科を調べていくと、…ん!?一瞬、読み間違いかと思ってしまった、その名も「ウキウキゴケ」。植物に限らず、生き物の和名(日本語名)には、興味深いものが多々ありますが、久しぶりに面白い名前に出会いました。

ウキウキゴケは、北海道には分布していないようなので、いつか出会えるその日を、ウキウキして待ちたいと思います。

02 Green Column

美幌町の 美術

作品/中村裕 文/早田真莉子



中村さんは現在、北海道陶芸会会長を務めながら、札幌市の「草の窯」で制作されています。日本陶芸美術協会の会員でもあり、北海道を代表する陶芸家です。作品の題材には、北海道の風景や生きものを多く用いており、なかでも馬は、中村さんの作品によく登場するモチーフです。

中村さんが幼いころ、ご実家は美幌 町内で米屋を営んでおり、当時は馬で お米を運んでいたことから、馬は中村



さんにとってとても身近な動物だった そうです。そのため、雪原などの故郷 の風景とともに、馬の存在は中村さん の心に深く刻まれ、美しい作品へと昇 華されています。

ほかにも、美幌町の川で「オショロコマ」を捕まえて遊んだ経験から、写真の箸置きのように、この魚を題材とした作品もしばしば制作しています。かつて子どもたちの遊び相手だったオショロコマも、いまでは"幻の魚"と呼ばれるほど、町内では稀少な魚です。このように、美幌町ゆかりの作家の作品を通して、町の記憶にも触れることができるというのは、なんともロマンがあり郷愁に駆られるものですね。

中村さんの作品は「草の窯」公式 ホームページ (https://kusanogama. com/) でも閲覧可能です。数々の陶 芸展での受賞作も掲載されていますの で、ぜひご覧ください!

Exhibition 展示

企画展「おひろめコレクション展」 12月9日(土)~1月14日(日)

Event イベント 持ち物等は申込時にご確認ください

博物館講座(歴史編)「美幌懐かしの学び舎」

12/16 生 10:00-11:30

美幌博物館

講師/八重柏誠(美幌博物館)

対 象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館へ電話申込み (12/1~12/15)。 定員 25 名。

プチ工房「モールサンタ」

12/15 金)、16 生) 10:00~12:00、14:00~16:00 息度 全部 で作品 (12/15 金)、16 生) 10:00~12:00、14:00~16:00 見度 (12/15 金) に対する (14/15 金) に対する (14

美幌博物館1階講座室・300円

講師/早田真莉子(美幌博物館)

対 象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要

モノ作り講座「版画で手作りクリスマスカード」

12/23 仕) 10:00 ~ 12:00、14:00 ~ 16:00 自由入室で作品 ができ次第終了

美幌博物館1階講座室・300円

講師/早田真莉子(美幌博物館)

対 象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館へ電話申込み (12/1-12/22)。各回定員 12 名。

プチ工房「モザイクタイルのコースター」

1/12 金)、13 仕) 10:00 ~ 12:00、14:00 ~ 16:00 自由入室で作品 ができ次策終了

美幌博物館1階講座室・300円

講師/城坂結実(美幌博物館)

対 象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/申込み不要

美幌峠のお土産品はありませんか?

美幌峠で昭和時代に販売されていたお土産品を集めています。クッシーに 関係するものも大歓迎です。

例えば、ペナント、提灯、キーホルダー、「クッシーの歌」のレコードなど がありましたら、美幌博物館へお電話でご連絡ください。









Tweet つぶやき

美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

術分野からは、美幌町出身の銅版画家 松本優治さんの未公開作 品約40点をおひろめします。ほかにも、昔懐かしい生活資 料などがご覧になれます。ぜひお越しください。

(早田真莉子)

【デザイン】城坂結実 集】城坂結実 【お問合せ】美幌博物館

〒 092-0002 北海道網走郡美幌町字美禽 253-4 Tel. 0152 (72) 2160 Fax. 0152 (72) 2162

